

## 人生の最高点はいつでも今だ

小学校の卒業アルバムを見てると、皆の顔がなつかしい。

毎日放課後、船岡山の公園で野球をして、その後一緒に銭湯へ行った、あの頃の、友達顔がなつかしい感じた。

前の小学校一年の担任の榎元先生は僕をよくかわいがってくれた。

お父ちゃんが死に、お母ちゃんが再婚して、僕が小学校一年の冬休みに、大徳寺に引っ越した。それで、僕はよく榎元先生の夢をよく見た。

時々、放課後、土曜日など、電車に一人乗って会いに行った。しまいに、先生は「もう、来るな」と僕を叱った。

小学校を卒業して、今の中学校に行っても、小学校の友達と一緒に、授業を受けている夢を見た。

中学二年の夏、伏見桃山へ、大徳寺から引っ越ししたが、僕は、その時もよく、大徳寺の家に戻っている夢を見た。

僕はどうして、こう何度も、友達や大事な人と別れ離れにならなければならないのか。

これも運命として、定まったものなのか。これからも、僕は、どんな人に会い、喜びをわかち合い、そして、再び、別れて行くのだろうか。

あの子とも、いずれ、そんな別れる運命にあるのだろうか。